

健診予約のICT化の重要性

～決定までの背景と将来ビジョン～

公益財団法人 秋田県総合保健事業団

船 木 修

2021年9月8日 日本対がん協会 「がん征圧全国大会記念シンポジウム」

1. 秋田県の現状
2. 巡回健診の課題
3. コロナ禍でのニーズ
4. 新たな手法の模索
5. 予約システム導入のメリット
6. 将来ビジョンの提案
7. 課題
8. さいごに

1. 秋田県の現状

秋田県



面積 11,636 km²
人口 95万人

13市 9町 3村

巡回健診 拠点

県北健診センター

中央健診センター

県南健診センター

秋田県総合保健事業団 実施事業

巡回健診

結核

特定健診

がん検診

(胃 子宮 乳 肺 大腸 前立腺)

職域健診

骨粗鬆症

学校保健

(尿 貧血 心電図 脊柱側弯)

検査事業

臨床検査

食品衛生

(腸内細菌 食品検査)

環境管理

(水質 簡易専用水道 浄化槽)

施設健診

日帰り人間ドック

中央健診センター施設健診

巡回健診 状況 2019年

13市 9町 3村

巡回健診
結核
特定健診
がん検診
(胃 子宮 乳 肺 大腸 前立腺)
職域健診
骨粗鬆症
学校保健
(尿 貧血 心電図 脊柱側弯)

検診車 34台
胸部 10
寝たきり 2
胃胸部 3
胃部 6
乳 2
子宮 2
循環器 8
骨粗鬆症 1

受託自治体数
特定健診 19
胃 21
子宮 20
乳 22
肺 23
大腸 21
前立腺 19
骨粗鬆症 21

巡回健診の課題

【2003年をベースに中期経営計画を策定】 2013年

- ① 決算分析に基づく過去10年スパンの経営内容の確認
- ② 事業団の経営に大きな影響を及ぼす要因の将来予測
- ③ 将来予測を反映した当面5か年の経営目標と行動計画

課 題

- 減少傾向にある住民健診の対策
- 健（検）診の効率化
- 効率的なスタッフ配置
- コスト削減

課題に対するこれまでの取り組み

• コール・リコールの実施	受診者数の維持には効果 受診者数増は頭打ち
• 住民の事前申込み調査の事業団による実施	自治体の予算削減 事前申込みの精度×
• 県、自治体との連携強化	県・・・予算確保に難 自治体・・・日程増の要求
• 日程調整による効率化	毎年調整し削減を図る 調整に難
• 健診会場の集約	ある程度集約 頭打ち
• スタッフ配置の見直し	受診者数の把握に課題 余剰配置
• 検診車の更新計画	検診車の老朽化が顕著 削減したい
• 変動人件費の削減	ある程度削減 適正な配置に難

コロナ禍における自治体、受診者のニーズ

< 新型コロナウイルス感染予防対策 >

- 体調チェック
- 消毒
- 換気
- 3密の回避 ➡ 予約制が不可欠

従来の電話やハガキでの方法では・・・

- ・予約の取得 受診者に負担
- ・予約の受付 自治体に負担

安心 安全 に 受診

課題解決の新たな手法

【自治体、受診者のニーズ】

【健診機関が抱える課題】

両方を解決するには・・・

- 健診受付時間の分散化
- 健診会場での受診人数を正確に把握

受診行動の管理

ICTを活用した予約システムの運用 ➡ 実現

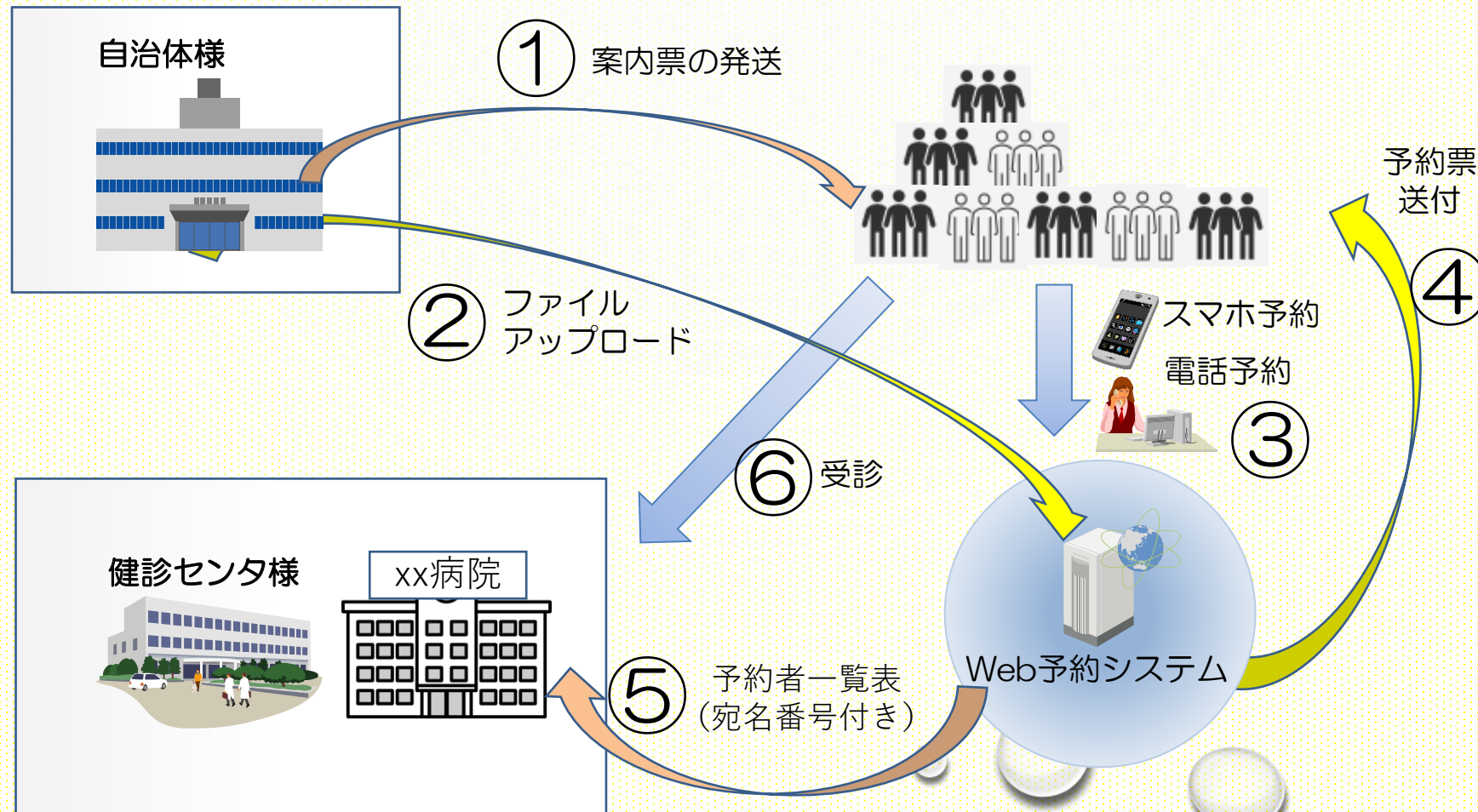
予約システムの要件

- ① 複数の自治体が使用可能、一元管理が可能
- ② 健診機関システムに予約情報の取り込みが可能
- ③ 健診実施機関として「クリニック」も登録可能
- ④ 安全性

予約のためのしくみ

4. 新たな手法の模索

- ❑ 案内票を発送し、人事情報をアップロードします。
- ❑ 受診者はwebまたは電話で予約します。
- ❑ 予約票を受け取り、受診します。

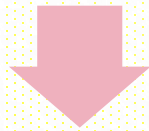


自治体、受診者のメリット

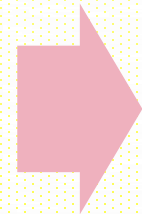
健診予約のICT化



- ・自治体職員の負担軽減
- ・正確な受診予定人数の把握



スマホで簡単予約
時間単位で予約



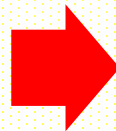
- ・自分の受診項目が判る
- ・待ち時間なく受診

予約システムを活用した展開①

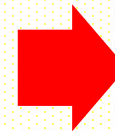
導入後に可能なこと

(1) 予約登録時に資格チェックが行われる

自治体受付業務



資格確認担当者の
負担を軽減



受付業務の代行
が可能

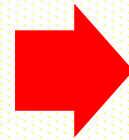
予約システムを活用した展開②

導入後に可能なこと

(2)

予約者へメールで通知

予約情報を
活用した受診勧奨



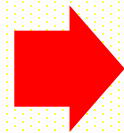
受診行動の管理

受診忘れ防止

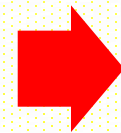
(3)

未予約者の把握が可能

予約情報を活
用した受診勧奨



新規受診者の
掘り起こし



コール・リコール

健診機関のメリット①

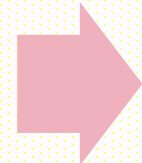
受診人数を正確に把握



スタッフの適正な配置が可能



巡回日程調整資料に活用



日程の効率化

コスト削減

日程の削減

胃部検診車の2台配置削減

変動人件費の抑制 検診車の保有台数の適正管理

健診機関のメリット②

健診の基幹システム

正確な受診予約情報の取り込み

精度の高い予約管理が可能

予約データ

健診基幹システム

時間単位での予約が可能

健診会場で受付作業の軽減

待ち時間を減らせる

顧客サービス向上

予約システムを活用した将来ビジョン①

(1)

個別医療機関方式への予約

クリニックの予約

クリニックの受付

予約業務軽減

受付業務軽減

【現状】白紙受診票に手書き

送付

印字した受診票

受診者情報の
間違い防止
確認作業軽減

予約システムを活用した将来ビジョン②

(2)

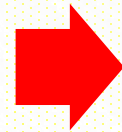
予約登録時に資格チェックが行われる

複数の自治体の予約データを一元管理

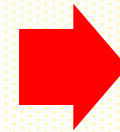
予約登録にタイムラグが発生しない

予約枠の設定が可能

受付業務の
代行が可能



自治体職員
不在で可能



自治体が混在しても
受付可能

自治体の垣根を越えてどの会場でも受診

**大規模ショッピングセンターなど
ついでに受診できる機会の提供**

導入に向けて見えてきた課題

コロナ禍において、自治体で予約制導入の機運が高まった
提案のタイミングとしてはギリギリ

- 今年度 モデル事業を実施 来年度以降の導入につなげる
- 県から自治体へ導入を提案 費用の助成が確定

1市で実施に向け調整中

現 状

- ① 10の自治体が来年度からの導入意向を示す
- ② 自治体はワクチン接種が最優先で、準備が進まない
- ③ 今年度から独自に予約制を導入した自治体が複数ある
- ④ 自治体のメリットをどう伝えるか

4市町で打合せを実施予定

費用と作業負担の軽減、住民サービス向上

今後の健診機関のあり方

安定した経営のために……

受け身の姿勢からの脱却

- 精度の高い、健(検)診・検査の実施 **だけ ×**
- 環境の変化に即した顧客ニーズの掘り起こし **事業化検討**
- 予約管理 受診勧奨など受診率向上の施策 **積極的に関与**

受診行動の管理を含め健診事業のパッケージ化

「健康増進事業の第一人者」



公益財団法人 秋田県総合保健事業団